

《Japan Tariff Association》

## 関税 メールプレス

(No. 531) 2018. 10. 26 発行元：日本関税協会 長崎支部

TEL:095-825-0557

Fax:095-825-1748

<http://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>

### 鹿児島県 薩摩川内市で「貿易実務講座

### ～入門編・関税評価編～」を開催しました

10月16日（火）、鹿児島県薩摩川内市で実施中の市民講座・薩摩の国シティセールス大学貿易実践学科の特別講座として、「貿易実務講座」と「川内港コンテナ貿易埠頭」の見学会を開催しました。

薩摩川内市では、地元貿易港の利用促進に伴い、海外貿易に関心を持つ事業者や人材の育成を図ることを目的に、貿易知識の習得や海外との貿易に直接取り組みたいと考える方々を対象に貿易実務等を学ぶ講座を年6回、2年間に渡り実施されていますが、今回、鹿児島税関支署川内出張所のご協力を得て特別講座として実施したものです。

最初に、当支部による「貿易実務講座～入門編・関税評価編～」として、「貿易実務の流れやインコタームス」といった定番に加え、輸入インボイス等に記載されていない契約条件等については、関税評価が必要であることなど事例を交えて講義を行いました。

その後、鹿児島税関支署川内出張所の川添所長から税関業務や最近の密輸事例などの説明があり、24名の受講生の皆さんは熱心に聴講されていました。

後半は、川内港にあるコンテナ貿易埠頭にマイクロバスで移動、ソーラスフェンスで囲まれたコンテナヤードの見学を行いました。外国貿易船からハーバークレーンで取り卸しされるコンテナやリーチスタッカーなど、日頃は見ることのできない施設を間近にし、見学者の皆さんからは驚きの声が聞かれました。

今回の特別講座には、薩摩川内市交通貿易課、コンテナヤード指定保税地域管理者様の全面的な協力を得て実施することができました。誌面を借りてお礼申し上げます。



[熱心に受講される皆さん]



[川内港コンテナヤード見学の様子]